

全建発 18 ～ 290 号
平成 18 年 12 月 21 日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第 524 回建設技術講習会 (テーマ : 環境) 開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員 8 万余名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国づくり、少子化・高齢化等への対応、地域再生・都市再生の推進、環境対策、交通安全の確保、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第 524 回建設技術講習会では、環境の保全や美しく良好な景観形成に向けて、公共事業に関する地球環境問題、自然環境の保全・再生、循環型社会の形成、新たな景観形成等、環境に関わる現状と課題に関する施策の動向、地域整備に係る環境面からの具体の取り組み状況、環境に係る手続きや調査・業務委託の実務等について最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

全建発第 17～314 号
平成 18 年 2 月 13 日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 佐藤 直良

(国土交通省 大臣官房 技術調査課長)



平成 18 年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国づくり、少子化・高齢化等への対応、地域再生・都市再生の推進、環境対策、交通安全の確保、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成 18 年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただければ幸いです。

敬具

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 524 回建設技術講習会 日程

(環境 ～環境の保全や美しく良好な景観形成に向けて～)

- 公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、循環型社会の形成、新たな景観形成等、環境に関わる現状と課題に関する施策の動向、地域整備に係る環境面からの具体的な取り組み状況、環境に係る手続きや調査・業務委託の実務等について最新の情報を得る -

会場…… 那覇市民会館 大ホール
〒902-0064 沖縄県那覇市寄宮 1-2-1 TEL098-855-5081(代)

1 日目 平成 1 9 年 2 月 2 1 日 (水)			敬称略
10 : 00 ↓ 10 : 20	あいさつ "	沖縄県知事 内閣府沖縄総合事務局次長 那覇市長	仲井真 弘 多 宇 塚 公 一 翁 長 雄 志
10 : 20 ↓ 11 : 50	自然と共生するまちづくり ～生態系保全と地域づくり～	(財) 日本生態系協会 事務局長	関 健 志
13 : 00 ↓ 14 : 30	環境から考える景観づくり・まちづくり	東京工業大学 名誉教授	中 村 良 夫
14 : 40 ↓ 15 : 40	【特別講演】 サンゴ礁の保全とサンゴ群集復元・創出 の人為的促進	名城大学総合研究所長 特任教授 日本サンゴ礁学会副会長・沖縄生物学会会長	西 平 守 孝
15 : 50 ↓ 16 : 20	【地域事業の紹介】 大保ダム建設事業について	内閣府沖縄総合事務局北部ダム事務所 副所長	与 那 覇 忍
16 : 20 ↓ 16 : 50	【地域事業の紹介】 古宇利大橋橋梁整備事業について	(財) 沖縄県建設技術センター試験研究部 試験研究課土質室 主任	又 吉 康 之
2 日目 2 月 2 2 日 (木)			敬称略
9 : 40 ↓ 10 : 40	港湾環境行政の方針と新たな施策について	国土交通省港湾局環境・技術課 環境整備計画室 専門官	前 川 亮 太
10 : 50 ↓ 11 : 50	景観法の制度活用を通じた良好な景観形成 の取り組み	国土交通省都市・地域整備局都市計画課 景観室 課長補佐	舟 久 保 敏
13 : 00 ↓ 14 : 00	河川環境の整備と保全	国土交通省河川局河川環境課 課長補佐	岡 下 淳
14 : 10 ↓ 15 : 10	今後の道路環境行政のあり方	国土交通省道路局地方道・環境課 道路環境調査室 課長補佐	井 上 隆 司
15 : 10 ↓	閉会のあいさつ	沖縄県建設技術協会長 (沖縄県土木建築部土木整備統括監)	知 念 盛 男
地域の独自調査			
【現場研修】 3 日目 2 月 2 3 日 (金)			

那覇ショッピングセンター前駐車場 (8 : 00 ¹) 出発 1 研修箇所の地理的な条件等のため、8 時出発にご理解願います

- 県道古宇利屋我地線 古宇利大橋橋梁整備事業 (下車説明) → 昼食 (名護市内)
- 大保ダム建設事業 (下車説明) → 国営沖縄記念公園 首里城地区整備事業 (15 : 10 着 ²、下車見学)
- 那覇空港 (17 : 00) 着後解散 → 那覇市内 [県庁前] (17 : 20) 着後解散

2 首里城地区整備事業からのアクセスについては別紙《参考》をご参照下さい。解散時刻は交通事情により多少超過する場合がありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第524回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 古宇利大橋(こうりおおはし)橋梁整備事業 今帰仁村古宇利島～名護市屋我地島

古宇利大橋は、今帰仁村古宇利島と名護市屋我地島を結ぶ延長 2,020m (橋梁部 1,960m、埋立部 60m) の離島架橋であります。

本橋は、古宇利島の医療・教育・福祉等の生活環境の向上を図るとともに、地域の産業の活性化及び観光資源の開発等を支援することを目的とし、平成5年度から平成7年度までは、今帰仁村の村道事業で、平成8年度からは、県道事業として整備を行ってきました。

本橋の開通により、古宇利島の離島苦が解消され、地域の産業・経済・教育・文化等の発展に大きく寄与するものと期待されています。

また、本橋は、橋長1,960mとなっており、これまでの来間大橋の橋長 1,690mを凌ぎ、県内最長で、通行料無料の橋梁としては、全国一の長さになります。



2 大保(たいほ)ダム建設事業

..... 沖縄県国頭郡大宜味村字田港地先

大保ダムは、沖縄北西部河川総合開発事業の一環として、大保川水系大保川の大保大橋より上流約 2.9km の地点に建設するもので、洪水調節・下流河川の適正な流量の確保・水道用水の供給を目的とする多目的ダムです。

○洪水調節

ダム地点の計画高水流量 405m³/s のうち 250m³/s の洪水調節を行い、ダム下流の水害を防除します。

○既得取水の安定化及び河川環境保全等のための流量の確保

ダム地点下流の既得取水の安定化、河川環境保全のための河川維持用水の確保を行う等、河川の適正な流量を確保します。

○水道用水

沖縄本島の水道用水として大保ダム、奥間ダム及び両ダムを連結する調整水路、並びに水道事業施設による8河川からの導水により大保ダム地点において新たに1日 111,000m³ を供給します。



3 国営沖縄記念公園首里城地区整備事業

..... 沖縄県那覇市首里当蔵町

貴重な国民の文化遺産を回復する目的で復元された首里城は、新たな県民文化の創出と伝統技術の継承・発展を図り、歴史的風土探訪の場として、整備を行っています。

首里城公園は、「首里杜(すいむい)構想」のもとに、古都首里の風土を形成している地形、水質、植生等の保存を配慮し、人々が寄り集まり、語らい、共感する新しい空間の創出をめざす歴史的な都市公園として、位置付けています。

また、史跡「首里城跡」は、世界遺産にも登録されています。



第 524 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には那覇市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
送金先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 TEL 03(3272)2411 FAX 03(3272)3169
 銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座№1015114
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル 6F）
 お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「524」を付け加えて下さい。
問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 TEL 03(3272)2411 FAX 03(3272)3169
 「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 19 年 2 月 9 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 19 年 2 月 16 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舍名、宿泊料

平成 19 年 2 月 20 日(火), 21 日(水), 22 日(木), 延泊 23 日(金) （1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

宿 舎 名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
沖縄ポートホテル	那覇市西 1-6-1 TEL: 098-868-1118	シングル	40 名	8,900 円
オーガストイン久茂地	那覇市久茂地 3-1-10 TEL: 098-867-8000		20 名	8,900 円
ホテルシーサー・カン	那覇市牧志 1-3-43 TEL: 098-868-4343		30 名	8,600 円
ホテルパームロイヤル NAHA	那覇市牧志 3-9-10 TEL: 098-865-5551		40 名	8,500 円
宿泊斡旋人数合計			130 名	

* 宿舍が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

講習会場・現場研修集合場所・斡旋宿舍 案内図



講習会場（那覇市民会館）までの交通案内につきましては、別紙《参考》をご参照下さい。

第 524 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意下さい。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ～ G を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行(株)宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第、締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部日本橋支店 TEL 03(3272)2411 「全建担当デスク」

【往路】2月20日（火）講習会前日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	東京（羽田）→ 沖縄（那覇） 15：50 18：40	JAL1927 （日本航空）	40 席	19,500 円
B	神戸 → 沖縄（那覇） 13：50 16：00	JAL3385 （日本航空）	20 席	17,000 円
C	福岡 → 沖縄（那覇） 18：20 20：00	JAL3613 （日本航空）	20 席	18,000 円

【復路】2月22日（木）聴講終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
D	沖縄（那覇）→ 東京（羽田） 16：50 19：00	ANA132 （全日空）	10 席	20,000 円

【復路】2月23日（金）現場研修終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
E	沖縄（那覇）→ 東京（羽田） 19：35 21：45	JAL1926 （日本航空）	40 席	22,000 円
F	沖縄（那覇）→ 大阪（伊丹） 17：40 19：30	JAL2088 （日本航空）	20 席	20,000 円
G	沖縄（那覇）→ 福岡 18：55 20：30	JAL3612 （日本航空）	20 席	18,000 円

- ・上記代金には、航空保険特別料金（1区間 300 円）、旅客施設使用料（東京（羽田）1区間 100 円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機に時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭 乗 区 間	2/5～2/8 に取消した場合	2/9～2/16 に取消した場合	2/17 以降便出発ま でに取消した場合
A ～ G（全便共通）		3,000 円	6,000 円	9,000 円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

講習会場（那覇市民会館）までのアクセスについて

ゆいレール（モノレール）利用

「那覇空港駅」より18分「安里（あさと）駅」下車、徒歩約15分（約1km）。

タクシー利用

（那覇空港から）約15分 1,200～1,500円。

（国際通り「県庁前」から）約5分 600円前後。

路線バス利用

（那覇空港から）

那覇空港から「那覇バスターミナル」まで乗り、「那覇バスターミナル」にて乗り換え、

「与儀十字路」又は「県立看護大学前」バス停にて下車。徒歩約3分です。詳細は下記のとおりです。

空港からほとんどのバスは「那覇バスターミナル」を経由します。（99番（具志行き）以外）

・所要時間約15分、料金200円

「那覇バスターミナル」→「与儀十字路」又は「県立看護大学前」バス停

各路線バスの台数が多いので、与儀方面行きを確認後乗車し「与儀十字路」又は「県立看護大学前」バス停で下車。

・所要時間約20分。料金200円

（那覇市民会館HP <http://www.city.naha.okinawa.jp/out/kaikan/>）

現場研修「首里城地区整備事業」より那覇空港までのアクセスについて

■ ゆいレール（モノレール）利用

「儀保（ぎぼ）駅」及び「首里駅」まで、下記地図の点線（・・・）に従い、徒歩約15分。

「儀保（ぎぼ）駅」→「那覇空港駅」まで所要25分。「首里駅」→「那覇空港駅」まで所要27分。

■ タクシー利用

約50分～60分（約10km）、1,800円程度。



第524回建設技術講習会（環境）申込書

<個人情報の取扱いについて>
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただきます。但し、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現場研修
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○囲みにして下さい)	年齢		正会員	非会員		
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

聴講料

正会員・特別会員・賛助会員	名 × 9,800円 =	円
〃 (昼食不要)	名 × 8,200円 =	円
正会員(地元(沖縄県内))	名 × 3,000円 =	円
〃 (昼食不要)	名 × 1,400円 =	円
正会員(地元)とは、開催地(沖縄県)内に勤務の「正会員」		
非会員	名 × 14,800円 =	円
〃 (昼食不要)	名 × 13,200円 =	円
現場研修料	名 × 7,500円 =	円
計		円

現場研修の昼食は不要の申し出はできません

宿泊申込

予約日に○印を記入して下さい				航空便申込		
				往路	復	復
				A～Gを記入		
2月20日	21日	22日	延泊23日	2月20日	22日	23日

宿泊予約金
泊 × 4,000円

航空便
往路
復路

計

↓ 全建に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕
お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03 - 3586 - 6640迄

〔聴講時の昼食について〕
昼食時間が限られており、また、会場周辺には昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

〔現場研修時の昼食について〕
現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。

↓ 西鉄旅行欄に振込